

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
神山市	②学校と地域の 課題	学校支援ボランティ アの確保・育成	(放課後子ども教室) ・新たな講師の不足。 ・活動内容によって参加数にば らつきがある。	・新たな講師の確保。 ・児童が楽しめる活動や内容を考える。	・できるだけ多くの児童に、様々 な体験ができるような機会を与 える。 ・他学年との交流。	・児童の参加人数	422	人	450	444	2	前年度よりも参加者の人数自体は増えたが目標値には届か なかった。高齢化に伴う講師の引退及び内容の固定化に伴 うマンネリ化が課題であり、来年度より新しい内容を積極的 に取り入れてみる。
神山市	③学校と家庭の 課題	家庭等における学習 習慣の定着	家庭学習が困難な生徒、学習 習慣が十分に身につけていな い生徒について、学習時間の 確保、学習習慣の定着が課題 となっている。	・町が中学校の空教室を借りて塾講師を 派遣し、受講を希望する生徒に対し、中 学3年生は週2回、中学2年生は週1回、 基礎重点と応用の2コースに分けた個別 指導スタイルで主に数学、英語の指導を 行う。	学校以外で日常的に学習を行う 生徒が増える。	学習習慣の定着について (アンケート調査)	50	%	60	60	3	学習習慣の定着度合いの向上が見られるため、継続して希 望する生徒に指導を行っていく。